
希望学国際コンファレンス
「希望と社会の新たな地平へ」
全記録

目 次

| | | | |
|------|--|-----------|----|
| まえがき | 国際コンファレンスについて | 玄田有史・宇野重規 | 7 |
| 序章 | 開会挨拶 | 小森田秋夫 | 13 |
| 第1章 | 希望学調査について | 玄田有史 | 17 |
| 第2章 | The Cornell Project and Research of Professor Swedberg Hirokazu Miyazaki 宮崎広和 | | 27 |

| | | |
|-----|---|-----|
| 第3章 | スウェッドバーグ先生の論文の紹介およびコメント 宇野重規 | 31 |
| 第4章 | Legal Fiction: Technical Hope at the Center of Capitalism Annelise Riles | 41 |
| | コメント： 佐藤岩夫 | 48 |
| 第5章 | Sociality of the Present: Affect, Family, and Japanese Kids Anne Allison | 57 |
| | コメント： 玄田有史 | 68 |
| 第6章 | Hoping with Wolves, Or Can the Colonialist Negotiate? Ghassan Hage | 77 |
| | コメント： 春日直樹 | 90 |
| 第7章 | 総括討論 宮崎広和・春日直樹・草郷孝好・広渡清吾・宇野重規 司会・玄田有史 | 119 |
| | コメント： 広渡清吾 | 94 |
| | コメント： 草郷孝好 | 97 |
| | 全体討論 | 104 |

第8章

閉会挨拶

仁田道夫 127

コンファレンス参加者プロフィール

131

まえがき——国際コンファレンスについて

希望と社会の新たな地平へ

本書は、2007年12月18日に国際文化会館にて開催された希望学国際コンファレンス『希望と社会の新たな地平へ』（英題 The International Hope Studies Conference: Toward a New Horizon of Hope and Society）の開催記録を取りまとめたものである。

本コンファレンスは、社会科学と人類学、哲学等のコラボレーションを通じて、希望と社会の関係の解明に新しい地平の一端を切り開くことを目的に開催された。コンファレンスを主催した東京大学社会科学研究所では、希望と社会との相互関係を社会科学的に検証する「希望学」研究を2005年度より進めてきた。そこでは社会科学の観点から、全国アンケート調査及び、岩手県釜石市を対象とした地域調査などにより、希望の社会的位相について考察している。その成果として、個人における希望の有無には、経済的余裕の多寡のみならず、コミュニティにおける社会的ネットワークの形成のあり方が、重要な役割を果たしていることなどを見出してきた。

ただし、希望の背後にあるのは、それらだけではない。希望とは、未来を展望するための具体的な行動指針であると同時に、挫折を含む過去を理解し、受け止めるための想像力の源泉でもある。希望は、未来と過去にまたがるものであり、つねに両義的な意味合いを含み、画一的な定義に収斂しない。そのような豊かな可能性を秘めた希望の概念は、日常的な幸福の追求や意欲の喚起に不可欠な空間や次元を創造する一つの物語である。

さらに希望の創造と喪失についての課題は、日本国内にとどまるものではない。貧困や環境問題の深刻化、急速なグローバル化に伴う混迷、絶え間ない地域紛争など、世界における希望はたえず揺らいでいる。希望という概念に着目したとき、社会のダイナミズムは、どのように見えてくるだろうか。希望は今、社会や人類に何

を問うのか。

今回のコンファレンスは、哲学、人類学、社会学といった観点から、希望をテーマに研究を進めている米国、オーストラリアなどの研究者を招待し、希望と社会のあり方について、社会科学の枠組みを越え国際的かつ学際的な観点から、新たな可能性を探ったものである。2007年6月に開催されたワークショップを踏まえ、人類学と社会科学の協働による希望研究の新たな方向性について、積極的な議論が展開された。(なお、ワークショップの記録は、玄田有史・宇野重規編『社会科学と人類学の希望についての対話から：希望学ワークショップの記録』東京大学社会科学研究所研究シリーズNo.27、として刊行されている。)

今後は、ここでの知見に基づきつつ、新たな研究や検証を加えながら、希望学の成果としてとりまとめる予定である。

なお、コンファレンスでの報告や資料の一部は、*Hope in the Economy*, Swedberg, R. and Miyazaki, H. eds, Stanford University Press.との関係から、ここでは掲載していない。詳細は、近日刊行の上記出版をご参照頂きたい。

国際コンファレンスの開催にあたっては、コーネル大学の宮崎広和准教授をはじめ、多くの方々のご助言・ご支援を頂いた。この場を借りて感謝を申し上げたい。

玄田有史・宇野重規

コンファレンス参加者プロフィール

Allison, Anne

Robert O. Keohane Professor and Chair

Department of Cultural Anthropology, Duke University

Recent Works

Millennial Monsters: Japanese Toys And the Global Imagination.

University of California Press, 2006.

Permitted and Prohibited Desires: Mothers, Comics, and Censorship in Japan.

Westview (HarperCollins), 1996.

Nightwork: Sexuality, Pleasure, and Corporate Masculinity in a Tokyo Hostess Club.

University of Chicago Press, 1994.

Genda, Yuji 玄田有史

Professor 教授

Institute of Social Science, University of Tokyo 東京大学社会科学研究所

Recent Works 最近の業績

『希望学』(編著) 中央公論新社(中公新書ラクレ), 2006年4月, 218頁.

『ニート:フリーターでもなく失業者でもなく』(曲沼美恵との共著) 幻冬舎(幻冬舎文庫), 2006年8月, 290頁.

Hage, Ghassan Joseph

Professor

Department of Anthropology, University of Sydney

Recent Works

"Learning to hope with beasts." Essay for the Monash University Museum's Catalogue for the 'Regarding Hope and Fear' Exhibition, July 2007.

Australia between White Insecurity and Muslim Otherness, in *Rencontres*

Australiennes, PUPS, Paris, 2007.

Hirowatari, Seigo 広渡清吾

Professor 教授

Institute of Social Science, University of Tokyo 東京大学社会科学研究所

Recent Works 最近の業績

『比較法社会論：日本とドイツを中心に』放送大学教育振興会, 2007年4月, 222頁.

「EU市民権とドイツ国籍法」『比較法研究』67: 133-139頁, 2006年5月.

Kasuga, Naoki 春日直樹

Professor 教授

Graduate School of Human Sciences, Osaka University 大阪大学大学院人間科学研究科

Recent Works 最近の業績

『<遅れ>の思考：ポスト近代を生きる』東京大学出版会 (2007)

『太平洋のラスプーチン：ヴィチ・カンパニ運動の歴史人類学』世界思想社 (2001.2)

Komorida, Akio 小森田秋夫

Professor 教授

Director 所長

Institute of Social Science, University of Tokyo 東京大学社会科学研究所

Recent Works 最近の業績

『体制転換と法——ポーランドの道の検証』有信堂, 2008年, 432頁.

『ヨーロッパの東方拡大』（羽場久美子・田中素香と共編）岩波書店, 2006年, 361頁.

「欧州憲法条約はどう語られたか：ポーランドの場合」羽場久美子・小森田秋夫・田中素香（編）『ヨーロッパの東方拡大』岩波書店: 152-174頁, 2006年.

Kusago, Takayoshi 草郷孝好

Associate Professor 准教授

Graduate School of Human Sciences, Osaka University 大阪大学大学院

人間科学研究科

Recent Works 最近の業績

「第14章 アクション・リサーチ」『実践的研究のすすめ：人間科学のリアリティ』

小泉潤二・志水宏吉編, 有斐閣, 251-266, 2007.

“Rethinking of Economic Growth and Life Satisfaction in Post-WWII Japan?: A Fresh Approach.”,

Social Indicators Research, vol 81(1): 79-102, 2007.

“Women’s Empowerment through Workers Collectives and Cooperatives in Japan: Sapporo

Women's Workers Collectives Case Study," in *A Gender Agenda: Asia-Europe Dialogue 3: Economic Empowerment for Gender Equality*, Singapore: Asia-Europe Foundation, 47-75, 2006.

Miyazaki, Hirokazu 宮崎広和

Associate Professor of Anthropology
Associate Director, East Asia Program
Cornell University

Recent Works

Arbitraging Japan: The Economy of Hope in the Tokyo Financial Markets
(under contract with the University of California Press)
"Between Arbitrage and Speculation: An Economy of Belief and Doubt,"
Economy and Society 36(3): 397-416, 2006.
The Method of Hope: Anthropology, Philosophy, and Fijian Knowledge.,
Stanford: Stanford University Press, 2004.

Nitta, Michio 仁田道夫

Professor 教授
Institute of Social Science, University of Tokyo 東京大学社会科学研究所

Recent Works 最近の業績

「労働法改革と雇用システム：解雇法制をめぐって」『社会政策学会誌』17: 73-82 頁,
2007年3月。
「第1章 東京の労働市場はどう変わってきたか：1980-2000年」
松島静雄監修『東京に働く人々』法政大学出版局, 2005年11月。

Riles, Annelise

Jack G. Clarke '52 Professor of Far East Legal Studies
Director, Clarke Program in East Asian Law and Culture
Professor of Anthropology
Cornell University

Recent Works

"Anthropology, Human Rights, and Legal Knowledge: Culture in the Iron Cage,"
American Anthropologist 108(1): 52-65, 2006.
Documents: Artifacts of Modern Knowledge. Ann Arbor: University of Michigan Press, 2006.

The Network Inside Out. Ann Arbor: University of Michigan Press, 2000.

Sato, Iwao 佐藤岩夫

Professor 教授

Institute of Social Science, University of Tokyo 東京大学社会科学研究所

Recent Works 最近の業績

『利用者からみた民事訴訟：司法制度改革審議会「民事訴訟利用者調査」の2次分析』

(菅原郁夫・山本和彦両氏と共編) 日本評論社、2006年、336頁。

「消費者団体訴訟の法形成機能について」林信夫・佐藤岩夫(編)『法の生成と民法の体系』

創文社: 675-706頁, 2006年12月。

「<心理学化する社会>と法の公共性」『学術の動向』2007年8月号、30-35頁。

Swedberg, Richard

Professor

Department of Sociology

Cornell University

Recent Works

Interest. Concepts in the Social Sciences Series; Series ed. Frank Parkin. Buckingham,

England: Open University Press, 2005.

A Max Weber Dictionary. With the Assistance of Ola Agevall. Stanford:

Stanford University Press, 2005.

Uno, Shigeki 宇野重規

Associate Professor 准教授

Institute of Social Science, University of Tokyo 東京大学社会科学研究所

Recent Works 最近の業績

『トクヴィル 平等と不平等の理論家』講談社選書メチエ, 2007年。

「トクヴィル復興の意味」『フランス哲学・思想研究』11, 日仏哲学会: 40-48頁, 2006年8月。

2008年3月31日発行（非売品）

東京大学社会科学研究所研究シリーズ No. 30

希望学国際コンファレンス

「希望と社会の新たな地平へ」

全記録

発行所 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
TEL 03-5841-4908 FAX 03-5841-4905

東京大学社会科学研究所

制作 東京大学社会科学研究所
希望学プロジェクト事務局

印刷所 大日本法令印刷株式会社
